

## 18. 主な財政指標での近隣区との比較

近隣区との主な財政指標の比較では、財政基盤の強さや財政の弾力性の状況は、概ね良好な位置にある。

平成17年度の財政力指数は前年同の0.43だった。この指数は大きいほど財源に余裕があるとされており、地方公共団体の財政基盤の強さを示している。

財政構造の弾力性を見る経常収支比率は79.4%で、前年度と同値である。経常収支比率の適正水準は、一般に70～80%と考えられており、台東区はこの範囲内にあるが、今後の財政運営のためには引き続き改善に努める必要がある。

財政運営の状況を判断する指標である実質収支比率は、前年度より0.4ポイント減少して3.4%となった。この実質収支比率は、数値が高ければ財政運営が良好であるということではなく、一般的には概ね3～5%の範囲が適正といわれている。

標準財政規模に対する公債費充当一般財源の割合である公債費比率は、9.7%で前年度と比べ0.8ポイント増となった。

| 主な財政指標        | 台東区  |      | 文京区  |      | 荒川区  |      | 北区   |      | 墨田区  |      |
|---------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
|               | 16年度 | 17年度 | 16年度 | 17年度 | 16年度 | 17年度 | 16年度 | 17年度 | 16年度 | 17年度 |
| 財政力指数         | 0.43 | 0.43 | 0.68 | 0.67 | 0.29 | 0.28 | 0.35 | 0.35 | 0.35 | 0.34 |
| 実質収支比率<br>(%) | 3.8  | 3.4  | 6.9  | 6.6  | 5.7  | 8.1  | 5.6  | 6.3  | 3.5  | 4.9  |
| 公債費比率<br>(%)  | 8.9  | 9.7  | 14.7 | 8.2  | 7.9  | 7.7  | 6.1  | 5.9  | 9.6  | 7.9  |
| 経常収支比率<br>(%) | 79.4 | 79.4 | 92.0 | 76.7 | 78.6 | 75.9 | 79.8 | 78.3 | 87.6 | 85.0 |